

お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
kasagi@potato.hokkai.net

庭先の冬囲いも解け、北海道の春は、花木の息吹きをひととき感じます。

皆さま、お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

「かおる通信」42号をお届けします。これからも春夏秋冬をサイクルに発行を続けていきます。

ご愛顧賜れば幸いです。

旭川市議会議員

笠木かおる



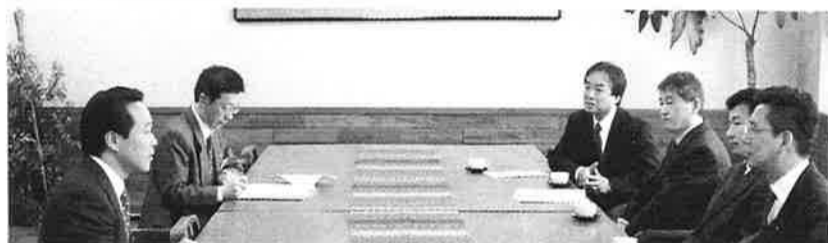
🐉 元旦から街頭に立ちました。👤

1月1日の朝、今年もお寺と旭川神社にお参りし、澄みきった冷たい空気です呼吸をしました。この瞬間は時間が静止しているかのように感じます。

元旦の街頭宣伝も9回目。今年も「良い年になりますように」と、気持ち新たに街宣を行いました。これからは、目にみえる議員活動で、地域の暮らしと声にしっかり根づいていこうと思います。



🚲 運輸労連と西川市長が懇談しました。🚗



運輸産業で働く人々で構成される運輸労連旭川地方協議会（議長・鈴木修全日通旭川支部委員長）と西川将人市長の懇談が2月22日、市役所応接室で行われました。

懇談では、トラック運輸産業の労働時間や賃金水準が他産業と比べ低い実態にあることや、原油高が会社経営や労働条件に大きく影響してきていることが話されました。西川市長は、必要な道路整備財源の確保を含め、安全で安心な公共輸送の確保のため、国などに強く求めていくと応えていました。私も運輸産業の政策を広く、行政に反映していく決意です。

愛宕市民委員会が愛宕小にパトロール着をプレゼント



愛宕地区市民委員会は3月14日、愛宕小学校・愛宕東小学校などにパトロール用のベストを贈呈しました。これは「愛情バザー」の益金を利用したものです。

私も、朝日文雄会長や佐藤弘子婦人部長らとともに学校に出向き、贈呈式に参加。児童のみなさんに「このベストには地域の皆さんの愛情がいっぱい詰まっています」とあいさつさせていただきました。

児童・生徒が安心して学び、存分に遊べる空間づくりに、地域の皆さんも頑張っています。



地元小中学校の卒業式や入学式に顔をだしました。しかし、日時が重なるため、ご案内をいただきながら出席できない学校も多く、その都度残念な思いをします。3月9日には母校・市立旭川中学校の卒業式に参加。生徒の別れの言葉や校歌合唱に感動を覚えました。子供たちの成長の姿にご父兄もさぞかし嬉しかったものと思います。

【近況報告】早いもので孫の太志くん、匡志くんは4歳と2歳になります。おかげさまでわんぱく育ち。4月からは保育園に通っています。居間は完全に「占拠」されました。



🌸 議会運営委員長として1年が過ぎました。🌸



議会運営委員長に就任させていただき、丸1年が経過しました。

この間、各会派の議会運営委員メンバーの協力や合意もいただき、西川市政においておおむねスムーズな議会運営がなされていると思います。しかし、市民の目線での議会運営や議会改革はまだ課題多く、道なかばです。

このほど、議会改革の一つとして4つの各常任委員会を毎月定例開催することが決まりました。このことにより市民からの請願や陳情がより迅速に解決されることなどが期待されます。

また、今議会ではガソリン暫定税率や道路特定財源などの国政課題が当初、旭川市議会においても対立する現状にありましたが、「旭川市議会の議会意思決定は全会一致が望ましい」とのおおかたの意向も働き、議会運営委員会で協議の結果、「地方自治体の安定的財政運営と道路財源の確保を求める意見書」が賛成多数で可決されました。

政局がらみの自民党と民主党との対立が、ストレートに旭川市議会での会派間対立にならなかったことは良かったことと思いました。

4地区後援会で「新春のつどい」を開いていただきました。



地元の千代田地区後援会（森進会長）、東旭川地区後援会（中川希一会長）、愛宕地区後援会（山谷司郎会長）、豊岡地区後援会（坂本良作会長）で2月、それぞれ4つの会場で「笠木かおる新春のつどい」を開いていただきました。

つどいには地区役員の方々をはじめ延べ260名の皆さまにご参加いただき、とても嬉しく思いました。心から感謝申し上げます。

つどいでいただいたお声やご提言をしっかりと自分のものとして、旭川のまちづくりに生かしていきます。

平成20年 第1回定例会が終わりました。



旭川市議会の平成20年第1回定例会は2月21日から3月24日までの33日間の会期で開かれました。平成20年度の旭川市予算は、一般会計が1,464億円、特別会計が1,220億円で総額2,684億円となりました。

特に一般会計は、前年との比較でほぼ横ばいの規模で編成することができましたが、扶助費等の増で政策的な投資予算は相変わらず厳しい状態にあります。なかでも「100年に1度」といわれる旭川駅舎の新築をはじめとする駅周辺開発事業に大きな予算を投入していることもあり、東光スポーツ公園など他の事業計画が総体的に遅れている現状にあります。

経済・農業対策予算や子育て支援の予算も一定程度確保しましたが、今後も市民や民間から様々な知恵をいただいて、不十分なところを常に補いながら元気な街づくりに奔走しなければならぬと思います。

総合防災センター開設に関して質疑しました。

議運委員長は本会議での質疑はしないとの慣例もあり、私は、予算等審査特別委員会で質問にたち、①今年10月、東光スポーツ公園にオープンする総合防災センターに関して②行政評価と20年度予算の2点について、理事者の考えをたどりました。

以下、総合防災センターに関する質疑要旨を報告します。



(笠木) 総合庁舎に設置してある衛星無線アンテナは激甚災害時の最終通信手段。防災センターに移設する必要はないか。

(答弁) 移設は必要。移設財源の関係で21年度以降になる。

(笠木) 東光スポーツ公園の後期整備計画にある複合体育施設と、総合防災センターの今後の整備計画にある支援物資集配センターは、政策的な調整が必要ではないか。

(答弁) 複合体育施設と支援物資集配センターの整備計画については、一体的に検討しなおし、21年度に見直し案を整理する。

(笠木) 「防災センターにいつも子供たちが見学に来ている」というようなソフト対策が大切ではないか。

(答弁) 体で体験できる効果的な防災教育メニューなどを実施していく。

(笠木) 多目的ホール、会議室や屋外の活動スペースなど、平常時、最大限市民に開放して有効に使っていただくことが防災意識の向上に繋がると思うが。

(答弁) 最大限、市民に開放し、多くの方に親しまれる総合防災センターの実現をめざす。

東光スポーツ公園パークゴルフ場



2月13日、旭川市パークゴルフ協会(岩見征士会長)の3役とともに西川市長と懇談し、パークゴルフの振興について話し合いました。東光スポーツ公園内に計画しているパークゴルフ場の整備については、21年に27ホールで開設し、次年度に9ホール増やし36ホールでオープンする予定です。



現場に足を運び

地域要望の課題に全力



春先になると特に、生活道路や公園、側溝などの生活環境にかかわる要望を地域の皆さんから寄せていただきます。

いま、どこの自治体も財政が厳しく、なかなか「右から左へ」行かないことばかりですが、どんなことにも、過程を大切に精一杯取り組んでいきたいと思えます。

そのためにも、現場主義に徹して、「直接見て、話を聞く」ことが自分の目標にしていることです。引き続き、解決に向けてがんばっていきます。



旭川神社で節分祭



今年も2月3日、旭川神社の節分祭・豆まきに参加しました。袴(かみしも)を纏い「福は内！」と多くの家族づれに豆をまかせていただきました。自宅に帰ると今度は子供たちに「鬼は外！」と、豆をまかれました。

旭川共生会理事・評議員会が開催されました。



社会福祉法人旭川共生会(高丸修理事長)の理事会と評議員会が3月27日、共生園(東旭川町共栄123)の会議室で開かれました。特別養護老人ホーム・身体障害者療護施設「共生園」が開設しておかげさまで5年半。現場スタッフの努力と利用者・家族や地域の協力で順調に運営されています。理事・評議員会では「介護サービスの質的向上」などを柱とする20年度事業計画を決めました。

笠木かおるプロフィール

- 昭和32年 東旭川で水田農家の次男として生まれる。
- 昭和50年 道立旭川商業高等学校卒業。(サッカー部FWで全道大会活躍) 汽車が好きで旭川鉄道管理局入社。
- 平成11年 「約束をしっかり守ること。たとえ小さなことに対しても一生懸命に努力すること」を公約に、旭川市議会議員に初当選。(3114票・30位当選)
- 平成15年 旭川市議会議員再選。建設公営企業常任委員長。(5169票・2位当選)
- 平成19年 旭川市議会議員再選。議会運営委員長。(6433票・2位当選)
- 主な活動 社会福祉法人旭川共生会常務理事 旭川市パークゴルフ協会顧問
- 好きな作家 司馬遼太郎 ●趣味 お香をたくこと。
- 好きな言葉 夢はでっかく。根は深く。(相田みつを)
- 家族 長女夫婦と孫2人の5人暮らし。次女は市内で独身生活。

